

平成 21 年 3 月度情報発信 No.30

お世話になっており、ありがとうございます。平成 21 年 1 月～3 月にわたる情報発信をお届け致します

世界の経済不況の中、輸出に頼る日本企業の年度末決算状況は未曾有の不況に見舞われています。国、企業、家庭とも不況の真只中にあります。この時期は、世の中の流れが、我々に変革と安全志向の相反する行動を問うています。この状況に於いて、弊社の経営もサブプライムに端を発した世界不況の影響を免れませんでした。何とか通年の経営状況を維持できそうです。

この間、新たに数社がクライアント会社になっていただいたり、クライアント会社ではないところから突発的に重要なコンサルティング業務が舞い込んだりしました。一方、クライアント会社の中には、業容の変化により、研究指導する業務の中止を決心され、長年の弊社とのクライアント会社契約を残念ながら打ち切られる会社も出ました。

活動報告

特記事項

B 社における講演：第 5 回腐食防食セミナーと公開相談会（平成 20 年 12 月 2 日、於兵庫県立工業技術試験センター）の報告会を行った(2009.1.9)。

- ・ ステンレス鋼の表面加工と耐食性の劣化
- ・ 電解研磨表面の耐食性
- ・ 熱交換器のフランジ面のすき間腐食
- ・ 半導体製造ラインのステンレス鋼の耐食性
- ・ 異種金属間の電食

などについて説明した。

岡山県の鉄工会社からの弊社訪問。鉄製細工の景観面から黒染め方法について相談あり。黒染め条件についてアドバイスした(2009.1.13)。

大阪技術振興協会にて、平成 21 年度の技術士一次試験受験セミナーの進め方について関係する講師打ち合わせに出席（82009.1.16）。

1）広島大学にてベンチャービジネス論の講義を二時間実施した（2009.1.19、午前 10～12 時）

2）広島国際学院大学にて、弊社技術アドバイザーの中佐啓治郎教授より、PC(プレストレーン)コンクリート橋のピアノ線止め金具に使用される高張力鋼の遅れ破壊の可能性について講義を受けた。出席者は止め金具メーカー部長、中佐教授と小生の 3 人(2009.1.19、午後)。

クライアント会社 F 社にて月例の研究打ち合わせを実施した（2009.1.22）。

今運転中のプロトタイプの装置の商品化について、詰めるべき問題をリストアップし、今後の研究方向を打ち合わせた。

福岡工業大学生命環境科学科大学院にて 1 日にわたる講義を実施（2009.1.27）。

大学院修士課程の学生 10 名対象に講義を行った。

テーマは、「腐食防食の基礎と耐食材料の進歩」。

講義責任者の北山幹人教授とのスナップ写真を添付します。

(社)産業環境管理協会主催の環境マネジメントシステムの審査員を対象に開かれた「環境マネジメントシステム審査員への最新環境情報講演会」に出席した(2009.1.28)。内容は、

- ・ 環境審査員の資格維持制度について
- ・ 製品のフットプリント(各製品の製造に際しどれだけの炭酸ガスが発生するか)について

腐食防食協会、関西支部総会(2009.1.30)

- ・ 福井工業大学教授の柴田俊夫教授(大阪大学名誉教授)と小生が関西支部の顧問に就任した。
- ・ 当日、(株)栗本鉄工所の大型機械装置(数千トンから1万トン以上)を製造する機械工場を見学した。大変整備された、きれいな工場であった。

ヒロコン(株) 和田裕幸社長が弊社訪問。

ヒロコン(株)で製造・販売されている表面反応装置(金属表面に薄膜水が吸着したときの金属の表面電位を測定する装置)の販売及び研究開発状況、同社の上海ブランチの経営状況についてお話を伺った(2009.2.6)。

日本技術士会関西支部の仲間で行う ISO 研究部会に久しぶりに出席して、情報交換を行った(2009.2.7)。

岡山県に新たに建設中の高速道路に架かる PC コンクリート橋の安全性についての実地検分と打ち合わせに出席した。PC コンクリートのプレストレーンに使用されているピアノ線を束ねて保持する高張力鋼金具の耐食安全性を検分した。

弊社からは、技術アドバイザーの中佐啓治郎教授と小生の二人が出席した(2009.2.9)。

橋の検分のスナップ写真を添付します。

産学連携人材育成事業(産学人材育成パートナーシップ事業 於徳島大学)

第2回教育プログラム開発委員会に委員として出席した(2009.2.24)。

CD-ROM に教材が集約された。

この教材は、

- 1) 設計段階における問題解決手法
- 2) 製造段階における問題解決手法
- 3) 検査段階における問題解決手法
- 4) 生産管理とサプライチェーンマネジメント

から成り立っている。内容は、教育的で、製造にかかわる技術者には大変役立つものになっている。例えば、小生が関係した

検査段階における問題解決手法については、

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| (1) 機械的性質(熱処理)と組織 | 岡田達也 |
| (2) 加工層・表面観察 | 橋本敏(大阪市立大学教授、弊社の技術アドバイザー) |
| (3) 金属材料の腐食防食 | 長野博夫 |
| (4) 接着問題の対策 | 三刀基郷 |

- (5) 画像処理
- (6) 非破壊検査
- (7) センサー

大恵俊一郎
吉田憲一
岩田哲郎

の内容を7氏が担当者された。

F社における月例研究指導(2009.2.26)。

I社における産業用熱交換器に使用されるアルミニウフィンの腐食抑制剤による防食研究結果の報告会(2009.2.9 予定)

総括：株式会社 材料・環境研究所 研究担当：広島工業大学 王栄光准教授

来月の初旬から約2週間中国にコンサルティングのために出張します。留守中にご迷惑をおかけするかもしれません。よろしくお願いいたします。

以上

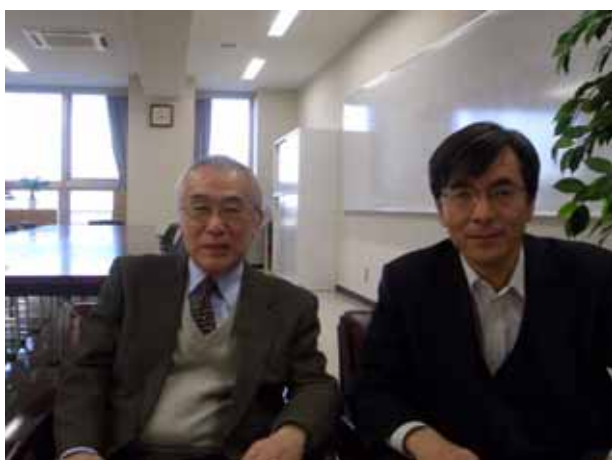


写真1 . 福岡工業大学 北山幹人教授(右)
と小生(左)



写真2 . 福岡工業大学キャンパス



写真3 . 中佐啓治郎広島国際学院大学教授(左)
と小生(右)



写真4 . PC コンクリート橋床面の調査